

わたしたちの町と成田空港 Vol.5

成田空港の更なる機能強化により、これまで以上に町と成田空港との関係が密接となることから、成田国際空港㈱から交付される「成田国際空港周辺対策交付金」がどのように使われているのかなどを、シリーズでお伝えします。 関企画空港課空港班 ☎84-1279

今回は、成田国際空港周辺対策交付金の枠組みをお伝えします。

成田国際空港㈱から交付される「成田国際空港周辺対策交付金」は、町が実施する航空機騒音対策はもちろんのこと、施設整備や道路などのインフラ整備、生活環境の改善を行う事業などに活用できるよう交付されており、町にとって貴重な財源の一つとなっています。

成田国際空港周辺対策交付金は、4つの枠で構成されています。



【令和3年度当初予算額：12億円】

※令和3年度一般会計予算総額117億円の約10%

成田国際空港周辺対策交付金



① 普通交付金 ② 特別交付金

従来から交付されており、町が航空機騒音対策として実施している「個人(世帯)への補助」や「地区への補助」をはじめ、航空機の騒音障害防止等に関わる事業だけでなく、学校や公共施設の整備、町道の整備などに活用されます。

令和2年4月より新設

③ 地域振興枠

令和2年度から新設された交付金の枠で、従来からの用途を拡大し、「教育」「医療」「福祉」その他、地域振興を目的とした事業に活用されます。

令和2年4月より新設

④ A滑走路特別加算金

2019年冬ダイヤ(令和元年10月27日～)からA滑走路の夜間運用時間が1時間延長されたことに伴い、新設された交付金でこれから建設されるC滑走路(3本目の滑走路)が完成し利用開始されるまでの間、A滑走路に係る環境対策事業に活用されます。

成田空港の更なる機能強化に伴い、成田国際空港周辺対策交付金の算定方法の見直しと令和2年4月1日の騒音区域拡大により、成田国際空港周辺対策交付金が増額されています。令和2年度からこれまでの普通交付金、特別交付金に加え、地域振興枠、A滑走路特別加算金が新設され、騒音対策の充実だけでなく、地域活性化策の推進など、より良いまちづくりができるようになりました。

次号は、町の将来を担う子どもたちへ実施している『成田空港や空港のお仕事を学ぶ事業』をお伝えします。

横芝光町は、これまでもこれからも安全・安心なまちづくりを推進するため、住環境の保全をはじめとした環境対策に努めるとともに、成田空港との共生共栄を図り、町の活性化に取り組んでまいります。